

<Modality モダリティー（ホメオパシー用語）>

語源=Mode（方法・様式・流儀・形態・流行・音階などの意）

Modality モダリティーとは、様相・基調・特徴的属性のことです。

悪化好転要因のこと。どのようなこと（外部環境・誘因・要因）で、その人の症状が悪化したり好転したりするかを表わします。体質的な特徴（傾向）のことです。

好転を「>」で、悪化を「<」で表します。

これまで、学んだレメディの Modality を確かめてみましょう。

モダリティーには、部分症状とその人全体の両方がありますが、多くの場合は、共通しています。部分は、全体の一部だからです。

Modality モダリティーは、その人の感受性（罹病性）をハッキリと表現するものです。

ホメオパシーで、最も大切なことは、その人固有の感受性（罹病性）を捉えることです。（感受性（罹病性）Susceptibility については、来月以降学びます。）

生きている人の特徴は、常時「Sensation 感じること」と「Function 機能・反応」が起きて来ることです。

人が病の状態にある場合は、罹病性が高すぎる（Sensation の異常）か、Function の異常が起きているということです。

Modality モダリティーを見ると、その人の Sensation と Function の特徴（傾向）が見えてきます。

2016～17 年に CHK で講義して頂いたインドの著名なホメオパシー臨床医 Dr.Sarkar は、「Modality が分からないままでは、決してレメディを決めることはできない。」と言いました。